

令和7年度予算見積調書(12月補正予算)

課室名: 畜産安全課
担当名: 総務・畜産企画
内線: 4189

(単位: 千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業
P44	家畜保健衛生所機能強化事業	一般会計	農林水産業費	畜産業費	家畜保健衛生費	家畜保健衛生所機能強化事業費
事業期間	令和3年度～ 令和8年度	根拠 法令	家畜保健衛生所法	針路 分野施策	12 1202	儲かる農林業の推進 強みを生かした収益力のある農業の確立 SDGsゴール: 2 SDGsターゲット: 2-4
1 事業概要	家畜保健衛生所の業務効率化とバイオセキュリティの向上を図り、家畜防疫体制の強化を目指す。					
施設整備事業						
継続費総額	2,703,648千円					
(令和6年度)	987,448千円 : 36.5%					
(令和7年度)	493,659千円 : 18.3%					
(令和8年度)	1,222,541千円 : 45.2%					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)						
3 地方財政措置の状況						
普通交付税(単位費用)						
(区分) 農業行政費 (細目) 食品安全費						
(細節) 家畜保健衛生費						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.0人=19,000千円						
5 事業説明						
(1) 事業内容	施設整備事業					
ア 畜産農家が集中する県北地域に新たに基幹家保を整備する。						
イ 農業技術研究センター内に設置されているBSE検査牛処理施設を新家保内に集約し、業務の効率化を図る。						
ウ 新家保敷地内に防疫資材倉庫を整備し、特定家畜伝染病発生時の迅速な初動対応に備える。						
(2) 事業計画						
ア 令和6～8年度	・建築工事の実施、大型備品の整備 ・防疫資材倉庫の設計・工事 ・家保機能移転と備品整備、開所					
イ 令和10年度～	・機能移転後の家保の解体工事					
(3) 事業効果	家畜保健衛生所の業務効率化とバイオセキュリティの向上を図り、豚熱(CSF)などの家畜伝染病の発生防止や発生時の即時対応によるまん延防止を強化する。					
【活動指標(アウトプット)】						
・病性鑑定部門の新家保への移設・バイオセキュリティを強化した施設整備・効率的なBSE検査体制の確立						
・防疫資材倉庫の敷地内整備						
【成果指標(アウトカム)】						
・迅速な疾病診断の実施・検査体制のバイオセキュリティ向上・BSE検査体制の改善						
・家畜伝染病発生時の速やかな初動対応の実施						
(4) その他						
ア 継続費総額	2,703,648千円					
(令和6年度)	987,448千円 : 36.5%					
(令和7年度)	493,659千円 : 18.3%					
(令和8年度)	1,222,541千円 : 45.2%					
イ 施設改修事業(川越家畜保健衛生所)は令和5年度で終了						

予算額		財源内訳					一般財源	補正後の予算額
	県債							
決定額	△1,222,541	△1,187,000					△35,541	493,659
現計額	1,716,200	1,680,000					36,200	

事業内訳書

事業名	家畜保健衛生所機能強化事業		
単位事業名	施設整備事業	予算額	△ 1,222,541千円

○歳入

(単位 : 千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・農林水産業債	△1,187,000	—	家畜保健衛生所施設整備事業債
一般財源	△35,541	—	
合計	△1,222,541	—	

○歳出

(単位 : 千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△16,992	—	工事監理業務委託料
工事請負費	△1,061,265	—	建築工事費
備品購入費	△144,284	—	大型備品購入費
合計	△1,222,541	—	